

コラム 17 ー 英国の歴史学者、ポール・ケネディ「大国の興亡」

「海軍の専門家は、東郷提督の艦隊がロシア艦隊を対馬沖の日本海海戦で破ったことに感嘆したが、それより脅威だったのは旅順要塞の包囲戦と奉天の会戦における日本軍将兵の戦いぶりだった。・・・中略・・・当時の軍事専門家が考えたとおり、モラルと規律が国力の充実に欠かせぬ条件だとすれば、日本にはこの資源が豊かにあったのである。」